

# 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染防止対策を 行った上での学生定期健康診断 —令和2年度の状況報告と今後の対策—

○奥屋 茂、森福織江、藤勝綾香、小林久美、梅本智子、中原敦子、山本直樹

## 要旨

2020年3月以降のCOVID-19拡大を受け、令和2年度の学生定期健康診断は、①健診項目削減、②対象者絞り込み、③受検前14日間の行動歴・健康観察表の記録、④体調不良者の受検拒否、⑤マスク着用・手指消毒、⑥換気と間隔をあけての整列等を徹底して行った。結果的に、健診をきっかけにしての感染という事態は起きなかったものの、学部生の受診率低下につながった。次年度に向けて、安全で有益な健診計画を立てて実施していきたい。

## キーワード

新型コロナウイルス、感染防止、対策、学生定期健康診断

## 1 はじめに

### 1.1 従来の学生定期健康診断

本学では、学校保健安全法<sup>1)</sup>に基づき、学部新入生約2,000名、学部在学学生約6,600名、院生約1,460名を対象に、例年春期4・5月に、短期集中型で学生定期健康診断<sup>2)</sup>を実施してきた(表1)。従来の健診項目<sup>3)</sup>は、①紙媒体の問診、②身長・体重、③視力、④聴力、⑤血圧、⑥尿検査、⑦心電図、⑧胸部X線検査、⑨内科診察、である。胸部X線検査は、法的には新入生のみ必須<sup>1)</sup>となっているが、本学では原則全学年を対象としている。また、心電図は新入生全員を対象として、その他学年では必要に応じて実施している。

表1 過去5年間の定期健康診断実施状況

	対象者(概数・人)	健診期間(日)	受診率(%)
新入生	2,000	4.5	100
在学学生	6,600	13.5	81
院生	1,460	13.5	72

### 1.2 健康診断方法の見直しの必要性

これまでの過去5年間の健診受診状況(表1)からは、1時間当たり80~95人の健診受付があり、所要時間は約40分であった。このような状況からすると、COVID-19感染対策の基本<sup>4)</sup>である“3密回避”のためには、従来の健診方法で実施することは不可能ということとなり、大学執行部や学生支援部とも協議を重ねて、①外部委託の胸部X線検査は業者の年度計画もあり、日程追加・変更が必ずしも容易ではないこと、②胸部X線検査で時に結核が発見され、留学生を含む新入生は、入学早々に実施したいこと、③山口県内はCOVID-19蔓延状態ではなかったこと、④実習等の関係で、春の健診受検の必要な学生が多くいること、などの理由から、大幅な見直しを行い、4・5月と職員健康診断期間の7月以降に分けて実施することとなった。

## 2 健診における感染防止対策

### 2.1 感染防止対策

COVID-19感染防止対策として、

- ①健診項目を、1)問診、2)身長・体重、3)胸部X線検査、4)後日提出尿検査に限定
- ②4・5月の対象者を、1)新入生、2)卒年生、3)実習等で必要な学生に限定
- ③春期対象外の学生には、7月以降に予定されている職員健診期間に追加日程を設定
- ④7月以降、対象者の多い吉田地区では、受付を分散させるためにWeb予約システムを構築・導入
- ⑤健診当日までの「行動歴を含む14日間の健康観察表(図1)」記入

図1 行動歴を含む14日間の健康観察表

**学生の皆さんへ**  
 大学生活を少しでも安心・安全に過ごせるように健康診断受検後も引き続き、「健康観察表」の記入をお願いします。「健康観察表」は、提出を求めるところがありますので、各自保管をお願いします。また、発熱等の風邪症状が見られる時や急な嘔吐・吐瀉症状を自覚した場合には、**保健管理センターへ連絡をお願いします。**また、新型コロナウイルス感染症への対応について、山口大学Webサイトに随時掲載しますので、最新情報を確認するようにしてください。

山口大学Webサイト  
 新型コロナウイルス感染症への対応について  
[http://www.yamaguchi-u.ac.jp/\\_8288.html](http://www.yamaguchi-u.ac.jp/_8288.html)

所屬学部学級保健課先一覧  
 保健管理センター TEL:083-933-5160  
 E-mail: covid-19@yamaguchi-u.ac.jp

健康観察表												
学部(研究科) 学科(専攻)	学籍番号	体温(単位)		咳	鼻水	嘔吐	吐瀉	その他	備考	その他	備考	備考
記入例	3/19	36.3℃	36.3℃									市販の風邪薬を内服した
記入例	3/20	36.3℃	36.3℃									スーパーへ日用品を買いに行った
1	/	℃	℃									
2	/	℃	℃									
3	/	℃	℃									
4	/	℃	℃									
5	/	℃	℃									
6	/	℃	℃									
7	/	℃	℃									
8	/	℃	℃									
9	/	℃	℃									
10	/	℃	℃									
11	/	℃	℃									
12	/	℃	℃									
13	/	℃	℃									
14	/	℃	℃									
15	/	℃	℃									

○朝・夜2回の体温測定(上表)の記録してください。  
 ○備考欄は、発熱・咳・嘔吐・吐瀉等の有無、行動履歴等を記入してください。

### 旅行・移動履歴報告書

○令和2年4月以降の旅行・移動履歴報告書(3月～4月にかけて月を改めたい場合は、3月から記入ください)

上記期間の旅行・移動履歴(表・裏) ※左記記入欄に「無」に○をつけた方は下記への記載は不要です。

旅行先滞在期間	国名	都府(滞在都市)	旅行中の体調不良の有無	利用交通手段	備考(経由地)
記載例: R2.2.10～R2.2.13	日本	山口市～東京～山口市	有(発熱・嘔吐)	新幹線	
記載例: R2.3.19～	日本	福岡市(実家)～山口市(下宿)	無	新幹線	
記載例: R2.3.20～	日本	東京(実家)～山口市(下宿)	無	バス	

- ⑥健診当日体温測定(37.5℃以上は不可)
- ⑦健診当日、体調不良者は受検不可
- ⑧マスク着用
- ⑨入口・出口・途中の数か所で手指消毒

⑩会場の換気(図2)

⑪私語厳禁

⑫間隔は2m確保しての整列(図3)

等を徹底することとした。

図2 換気と会場内動線



図3 間隔をあけての整列



### 2.2 健診受診不可判定の基準

行動歴を含む14日間の健康観察表(図1)を用いて、

- ①緊急事態発令地域から到着・帰着後14日以内の者
- ②記録内容で“COVID-19”の可能性を否定できない者
- ③健診当日の検温で37.5℃以上の者は、保健管理センターでの健診受診は不可とし、日を改めての、学外医療期間受診を含む別機会の健診を案内した。

### 2.3 胸部X線検査受検方法の見直し

健診項目の中で最も時間を要するX線検査を短時間にするため、

- ①無地Tシャツ1枚着用での受検推奨(図4)

②不特定多数の者が触る脱衣カゴ・検査着・バスタオルの不使用

図4 胸部レントゲン受検時の準備



③着替えをスピーディーにすること等を周知徹底した。

### 3 感染防止対策下での健診の状況

#### 3.1 健康診断所要時間の短縮

前述のように、①健診項目を限定したこと、②健診会場での採尿を中止したこと、③胸部X線受検方法を見直したこと、などで、健診所要時間は10～15分と、例年の1/3程度に短縮できた。

#### 3.2 健康診断受診率

春期の在学生の健診対象者を絞り込んだこと、さらに、学内関係者のCOVID-19感染発生を受けて、健診を急遽中断（連休前7月21日・22日中止）する事態が発生したこともあり、2020年9月中旬現在の集計結果では、  
①新生入生：99.6%(1,947人/1,954人)-過去5年間の受診率は100%  
②学部在生：57.7%(3,938人/6,821人)-過去5年間の受診率は81%

③院生：65.3%(935人/1,432人)-過去5年間の受診率は72%

と、例年に比べて学部在生、院生の健診受診率が明らかに低下した。

#### 3.3 胸部X線検査受診率

2020年9月中旬現在の集計結果では、

①新生入生：100%(1,947人/1,947人)

②学部在生：96.2%(3,788人/3,938人)

③院生：99.7%(935人/1,432人)

と、学部在生の受診率が若干落ちたものの、健診を受検した学生の大半は胸部レントゲンを受検していた。

### 4 まとめ

#### 4.1 令和2年度学生定期健康診断

COVID-19感染防止対策を徹底することで、健診に関連する感染の発生はなかった。

大幅な健診方法の変更、急な中止や健診期間延長で、学部在生・院生の健診受診率は大きく落ち込み、また、在学生の胸部X線受診率も低下した。

#### 4.2 今後の対策

令和2年度に特に大きく受診率が落ち込んだ吉田地区の学部在生を対象に、新たに構築したWeb問診システムを用いて、追加の問診を実施した。このWeb問診システム、夏期の追加日程ですでに運用を開始していたWeb予約システムは、次年度以降の学生定期健診でも有効活用することとしている。

さらに、新型コロナウイルス感染症の今後の推移を注視し、問診結果に基づく個別対応の健診を進めていき、同時に他大学とも情報共有しながら、次年度の健診計画を立てていきたい。

(奥屋 茂：教育・学生支援機構 保健管理センター 所長)

---

**【参考資料】**

- (1) 学校保健安全法施行規則 : <https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000002mci-p-att/2r9852000002mdgz.pdf>.
- (2) 森福織江, 他「山口大学学生定期健康診断受診率向上への取り組み～未受診者への対応～」CAMPUS HEALTH 55(1) 87-89, 2018
- (3) 保健管理センター年報 : <http://ds.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~hoken/hokekan/report/no.21.html>
- (4) 厚生労働省 HP : [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00094.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html)